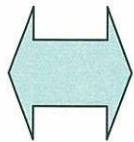


DPC拡大に対する賛成意見に対して

中医協診療報酬調査専門組織DPC評価分科会では、DPCの拡大(具体的には、軽症の急性期入院医療も含めてDPCの対象とする案)について、次のような賛成意見が出されている。

- ・DPC導入による医療の効率化、透明化等のメリットを多くの急性期病院に広げるべきである。
- ・DPCの趣旨として、急性期入院医療を標準化する観点からは軽症の急性期も含めた入院医療を対象とするべきである。
- ・もとは重症を扱う病院から始まったが、実施してみると軽症を扱う病院でも適用できるメリットが様々あることがわかった。



しかし、DPC導入が医療の質を高めたという明確なエビデンスはまだない。現在は、調整係数によって(収入が)守られているだけである。

情報の透明化というが、4年経った今も、各病院の分析に資するデータが提示されているわけではない。

ましてや国民の信頼が高まるようなデータは一切公表されていない。